

## 令和6年度入学生 滋賀短期大学の三つのポリシー

| 本学教学の基本方針  |   |   |
|--|---|---|
| <p>本学は、心技一如の建学の精神のもとに築きあげてきた実学教育の伝統を踏まえ、デジタル化が進む社会にも適切に対応する専門的能力と汎用的能力をもった人材を育成します。</p>  |   |   |
| 学修成果   |   |   |
| <p>本学の卒業生は、身につけた教養と専門的知識・技能・情報リテラシーにもとづく問題提起・解決能力、表現力、コミュニケーション力、を獲得し、深い人間性と高い倫理観をもって地域及び社会に貢献できる能力を有します。</p>  |   |   |
| ディプロマ・ポリシー   | カリキュラム・ポリシー   | アドミッション・ポリシー  |
| <p>卒業時点において、以下の観点から、各学科・コースの目的に沿った専門的な知識と、それを有効に活かすための技能、さらにそれらの基礎になる人間力をもっていることを求めます。</p> <p><b>【専門知識と教養】</b><br/>各学科・コースが掲げる専門的知識だけではなく、それを支える広い視野をもつために、幅広い教養と情報リテラシーが身につけていること。</p> <p><b>【専門性を活かす技能】</b><br/>専門知識を理解したうえで、それを使いこなせる技能と、それを応用する実践能力が身につけていること。</p> <p><b>【問題提起・解決能力】</b><br/>知識と技能を習得したうえで、専門分野にかかわる課題の所在やその分析の方法を総合的に考え、適切に判断して問題の解決にみちびく能力が身につけていること。</p> <p><b>【表現力・コミュニケーション力】</b><br/>問題提起から分析を経て解決に至る過程と、その成果を効果的にアピールするための表現能力が身につけていること。また豊かな人間性をもって人と人との円滑なコミュニケーションを実現する力が身につけていること。</p> | <p>本学では、ディプロマ・ポリシーを実現するために、4学科に共通のカリキュラム編成の方針を掲げると同時に、それぞれの学科・コースが、特色をもった教育カリキュラムを展開しています。</p> <p>また丁寧でわかりやすい授業をおこない、学生の理解度を高める「学修者本位の教育」の実現を目指しています。</p> <p><b>【カリキュラムの編成】</b><br/>専門科目と一般教養科目をバランスよく配置し、2年間のすべての授業が有機的に連携して機能するよう、系統的なカリキュラムを編成しています。</p> <p><b>【アクティブラーニングの充実】</b><br/>アクティブラーニングを積極的に取り入れ、学生と教員、あるいは学生同士が向き合う授業を行っています。</p> <p><b>【情報リテラシー、データサイエンス（リテラシーレベル）の教育の推進】</b><br/>全学でデジタル社会に対応できる教育を推進します。ノートパソコンを必携し、デジタル機器やオンラインを活用した教育を行うとともに、4学科すべてで、ITリテラシーとデータサイエンスの基礎を修得するようにします。</p> <p><b>【教育の質保証】</b><br/>専門科目はできるだけ少人数教育ができるよう、同一科目でも複数クラスを置くなどの措置を講じています。また教育の質を高めるために、各教員が授業改善し、個別の学生の学力や志望に応じた支援プログラムを制度的に確立しています。授業改善のためには学生の評価も積極的に導入し、その結果をフィードバックし改善につなげます。</p> <p><b>【実習科目の充実】</b><br/>実践に強い資質を身につけるために、実習科目を重視したカリキュラムを編成しています。資格・免許にかかわる学外実習科目については、十分な事前・事後指導を行い、実効性の高い実習ができるようにしています。</p> <p><b>【キャリア教育の充実】</b><br/>キャリア教育についても、独自の科目を配置し、入学から就職まで、社会人として基本的な資質を身につける教育を行います。インターンシップもキャリア教育の一環として、積極的に推奨及びサポートしています。</p> | <p>本学は、選択された学科・コースをなぜ志望したか、何を学びたいか、将来どのような分野で活躍したいかが明確で、学ぶ意欲を強くもつ人を求めます。</p> <p>学力の3要素の観点から、次のような資質・能力を求めます。</p> <p><b>【知識・技能】</b><br/>高等学校までの教育課程における基礎的な学力を身につけていること、とくに国語（日本語）において基本的な読む力と書く力をもっていること。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b><br/>自分で論理的に考えることができ、集団において自分の意見を表現し、課題について議論できるコミュニケーション力をもっていること。</p> <p><b>【主体性・多様性・協働性】</b><br/>与えられた学修に加えて、自分から学ぼうとする意欲をもって学修し、その成果を、将来社会人として活かしていこうという意志をもっていること。</p> <p>このアドミッション・ポリシーに合致した学生を受け入れるため、以下に示す選抜方法を実施します。具体的な選抜内容と学力の3要素の扱いは次のとおりです。</p> <p>◆総合型選抜（事前相談方式）<br/>事前相談の内容と調査書により、学力の3要素を多面的・総合的に評価します。</p> <p>◆総合型選抜（自己アピール方式）<br/>自己アピールシート、個人面接、調査書により、学力の3要素を多面的・総合的に評価します。</p> <p>◆学校推薦型選抜A<br/>高校時代に、学習に主体的に取り組んでいたことが必要で、面接、推薦書、調査書により、学力の3要素を多面的・総合的に評価します。</p> <p>◆学校推薦型選抜B<br/>国語（日本語）の基礎力があることが必要で、基礎テスト（国語）、面接、書類審査（推薦書、調査書）により、学力の3要素を多面的・総合的に評価します。</p> <p>◆学校推薦型選抜S<br/>特定のスポーツに秀でており、本学指定の部活動でどのような役割を果たしたかが明確であるものに対し、提出書類（自己推薦書、推薦書、活動実績証明書、調査書）と面接により、学力の3要</p> |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  | <p>素を多面的・総合的に評価します。</p> <p>◆一般選抜（Ⅰ期）<br/> 高校時代に学んだ国語（日本語）と英語の総合力があることが必要で、学力検査（国語、英語の２科目）、書類審査（調査書）により、学力の３要素を多面的・総合的に評価します。</p> <p>◆一般選抜（Ⅱ期）<br/> 小論文、書類審査（調査書）により、学力の３要素を多面的・総合的に評価します。</p> <p>◆大学共通テスト利用選抜<br/> 高校時代に学んだ学習内容を十分身につけていることが必要で、学力検査（大学共通テスト受験科目）、書類審査（調査書）により、学力の３要素を多面的・総合的に評価します。</p> <p>◆社会人特別選抜<br/> 本学は多様な経験を持つ人材を受け入れることにより、活気ある大学となることを目指し、社会人を受け入れます。小論文・面接、書類審査（調査書）により、学力の３要素を多面的・総合的に評価します。</p> <p>◆外国人留学生特別選抜<br/> 本学は外国文化を身につけた人材を受け入れることにより、活気ある大学となることを目指し、外国人留学生を受け入れます。事前相談を行った後、小論文、面接、口頭試問、書類審査により、学力の３要素を多面的・総合的に評価します。</p> |
|--|--|--|

令和6年度入学生 滋賀短期大学 生活学科 の三つのポリシー

| 生活学科の学修成果  |   |  |
|--|---|--|
| <p>本学科の卒業生は、身につけた教養と生活学に関する専門的知識・技能・情報リテラシーにもとづく問題提起・解決能力、表現力、コミュニケーション力を獲得し、健康で豊かな生活と地域及び社会に貢献できる能力を有します。</p>   |   |  |
| ディプロマ・ポリシー   | カリキュラム・ポリシー   | アドミッション・ポリシー   |
| <p>生活学科を卒業するためには、次のような知識と能力を身につけていることを求めます。</p> <p>【専門知識と教養】<br/>豊かな生活を実現するために必要な基礎的専門知識をもち、その上で生活全般にわたる広い視野にもとづいて考える能力</p> <p>【専門性を活かす技能】<br/>最新の情報技術を理解し、それを生活分野に応用できる専門的スキルと実践技術を修得し、生活の向上に積極的な提案ができる能力</p> <p>【問題提起・解決能力】<br/>日常生活全般を科学的・実践的に探求し、多様な現代社会を生活という観点から総合的にとらえ、その解決に向けて独創性のある提案ができる能力</p> <p>【表現力・コミュニケーション力】<br/>専門知識と実践的スキルを活かして、自ら考えたことを適切な方法でプレゼンテーションする能力と、地域の伝統的な生活文化に対して敬意をはらい、専門家として地域社会において有効な役割を果たすことができるコミュニケーション力</p> | <p>生活学科では、ディプロマ・ポリシーを実現するために、次のような特色あるカリキュラムを編成しています。</p> <p>【学科全体の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●社会生活と健康、食品と安全、栄養と健康、食文化、食デザインに関する専門科目を配置しています。</li> <li>●実験実習を通して高い技術を身につけるために、豊富な実験実習科目を配置しています。</li> </ul> <p>【各コースの特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●食健康コースでは、卒業と同時に栄養士免許を取得できます。地域との連携が充実しており、栄養士としての実践力が身につくカリキュラムを編成しています。</li> <li>●製菓・製パンコースでは、在学中に製菓衛生師免許を取得できます。菓子やパンだけでなく、食品一般の製造現場において活躍できる実践力が身につくカリキュラムを編成しています。</li> </ul> <p>【デジタルライフビジネス学科との連携】<br/>本学科は、ビジネスコミュニケーション学科と連携し、デジタルライフビジネス学科と共通のカリキュラムをもっています。暮らしをテーマに衣、食、住の各分野の専門知識に加え、デジタル技術を活用して快適で豊かな暮らしを提供できる専門家を目指したカリキュラムを編成しています。</p> | <p>生活学科では、次のような資質や能力をもつ入学生を求めます。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生活学は総合的な学問であるため、様々な分野に興味をもち探求心をもっている人</li> <li>●健康で豊かな生活を目指して自ら楽しく実践し、自分らしく工夫する喜びや楽しみをもてる人</li> <li>●地域社会で積極的に活動し、地域に貢献する意欲をもっている人</li> <li>●食健康コースでは、栄養士免許を取得し、食を通じて健康づくりに貢献したい人</li> <li>●製菓・製パンコースではお菓子やパン作りを将来の仕事として考えている人</li> </ul> |

令和6年度入学生 滋賀短期大学 幼児教育保育学科 の三つのポリシー

| 幼児教育保育学科の学修成果   |  |  |
|---|--|--|
| 本学科の卒業生は、身につけた教養と幼児教育保育学に関する専門的知識・技能・情報リテラシーにもとづく問題提起・解決能力、表現力、コミュニケーション力を獲得し、幼児教育・保育分野で活躍できる能力を有します。   |  |  |
| ディプロマ・ポリシー  | カリキュラム・ポリシー  | アドミッション・ポリシー   |
| <p>幼児教育保育学科を卒業するためには、次のような知識や能力、資質を身につけていることを求めます。</p> <p><b>【専門知識と教養】</b><br/>子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力</p> <p><b>【専門性を活かす技能】</b><br/>保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力</p> <p><b>【問題提起・解決能力】</b><br/>子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者を理解し、相談援助ができる能力</p> <p><b>【表現力・コミュニケーション力】</b><br/>保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション力</p> | <p>幼児教育保育学科では、ディプロマ・ポリシーを実現するために、次のような特色あるカリキュラムを編成しています。</p> <p><b>【学科全体の特色】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●乳幼児期から青年期にあたる子どもたちの理解に必要な、基礎的な知識を理解するための科目を配置しています。</li> <li>●幼児教育や保育に関する知識をさらに深く理解するために、必要な専門科目を体系的に配置しています。</li> <li>●幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格を取得し、現場に必要な実践的スキルを修得するための、演習、実習科目を配置しています。</li> </ul> <p><b>【各コースの特色】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●2回生配当科目として、教員の専門性を活かした内容で展開されるコースを設け専門演習を配置しています。自分の興味関心にもとづいて選択できるようにしています。</li> <li>●運動と表現コース<br/>保育に必要な「造形」「音楽」「運動」について、さらに深く詳しく学べるコースです。</li> <li>●保育実践コース<br/>子どもへの適切な声かけや遊び、小学校との連携、ICT活用などについて、さらに深く詳しく学べるコースです。</li> <li>●子ども理解コース<br/>子どもの発達や心理、遊びの中の学びなど、子どもを深く理解し、保育の基本をじっくり学べるコースです。</li> </ul> | <p>幼児教育保育学科では、次のような資質や能力を持っている入学生を求めています。</p> <p><b>【求める学生像】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもや子どもを取り巻く伝統や遊び、文化について、興味があり理解したいと考えている人</li> <li>●子どもの育ちを支える保育や教育、福祉に、興味があり理解したいと考えている人</li> <li>●保育や教育、子どもの福祉に関わる仕事に就くことで地域に貢献したいと考えている人</li> <li>●幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格を取得したいと考えている人</li> <li>●様々な背景を持つ人との関わりの中で、温かい心で他者を理解することに努めながら、冷静に自分の思いや考えを表現し、円滑なコミュニケーションを図る努力を怠らない人</li> </ul> |

令和6年度入学生 滋賀短期大学 ビジネスコミュニケーション学科 の三つのポリシー

| ビジネスコミュニケーション学科の学修成果   |   |  |
|--|---|--|
| 本学科の卒業生は、身についた教養とビジネスに関する専門的知識・技能・情報リテラシーにもとづく問題提起・解決能力、表現力、コミュニケーション力を獲得し、ビジネスの場での協働と地域及び社会に貢献できる能力を有します。   |   |  |
| ディプロマ・ポリシー   | カリキュラム・ポリシー   | アドミッション・ポリシー   |
| <p>ビジネスコミュニケーション学科を卒業するためには、次のような資質や能力を身につけていることを求めます。</p> <p><b>【専門知識と教養】</b><br/>ビジネスコミュニケーション学科が設置している総合ビジネスコース、総合医療事務コースの専門にかかわる科目を修得するとともに、幅広い視点から社会を理解する能力</p> <p><b>【専門性を活かす技能】</b><br/>ビジネスや医療の現場に必要な情報技術や実務的な技能を応用して、実際の課題に対応できる能力</p> <p><b>【問題提起・解決能力】</b><br/>業務を遂行するうえでの問題点を発見し、状況を判断し考察したうえで、適切な対応ができる能力</p> <p><b>【表現力・コミュニケーション力】</b><br/>客観的な状況や自らの考えを適切な方法で伝えるためのプレゼンテーション能力と、現場で責任感をもって行動し、思いやる気持ちをもって協働できるコミュニケーション力</p> | <p>ビジネスコミュニケーション学科では、ディプロマ・ポリシーを実現するために、次のような特色あるカリキュラムを編成しています。</p> <p><b>【学科全体の特色】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●社会における一般常識やビジネスマナーについて理解し実践するために、多様な科目を配置しています。</li> <li>●ビジネスや医療の現場で必要とされるコミュニケーション力を身につけるための科目を配置しています。</li> <li>●データを分析する能力を養うとともに、その結果を効果的にプレゼンテーションする技能を養成する科目を配置しています。</li> <li>●ビジネスや医療の現場で必要とされるコンピュータ技術に関連する科目を豊富に配置しています。</li> </ul> <p><b>【各コースの特色】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●総合ビジネスコースでは、ホスピタリティマインドをもち、ビジネスの現場で必要とされる知識を身につけ技能を養い、実践力を強化するための科目を配置しています。</li> <li>●総合医療事務コースでは、医療秘書・医療事務に必要な知識を身につけ実務能力を養い、実践力を強化するための科目を配置しています。併せて、患者やその家族を思いやる心を養う科目を配置しています。</li> </ul> <p><b>【デジタルライフビジネス学科・生活学科との関係】</b><br/>本学科は、デジタルライフビジネス学科と生活学科と連係し、共通の専門科目を持っています。それらを履修することにより、情報処理やものづくりの技術をビジネスで活用する技法を身につけることができます。</p> | <p>ビジネスコミュニケーション学科では、次のような資質や能力をもつ入学生を求めています。</p> <p><b>【求める学生像】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ビジネス実務、医療事務・医療秘書分野に関心をもち、主体的に学ぶ意欲があり、その分野で将来仕事をしていきたいと考えている人</li> <li>●多様化するビジネスや医療の現場でどのような専門性を身につければよいか、また多様な選択肢のある場で自分の可能性を探ってみたいと考えている人</li> <li>●コンピュータに興味があり、その技術を使っていろいろなビジネスや医療の分野で仕事をしてみたいと思っている人</li> </ul> |

| デジタルライフビジネス学科の学修成果   |  |  |
|--|--|--|
| 本学科の卒業生は、身につけた教養と生活ビジネス学に関する専門的知識・技能・情報リテラシーおよびデジタルマインドにもとづく問題提起・解決能力、表現力、コミュニケーション力を獲得し、地域及び社会に貢献できる能力を有します。  |  |  |
| ディプロマ・ポリシー   | カリキュラム・ポリシー  | アドミッション・ポリシー   |
| <p>デジタルライフビジネス学科を卒業するためには、次のような資質や能力をもつことを求めます。</p> <p><b>【専門知識と教養】</b><br/>現代情報社会のあり方についての教養と生活学とビジネス学の基礎知識を持ち、生活やビジネスに必要なデータの収集、処理、分析、情報活用、及びデジタル空間上で情報発信を行うことができる能力</p> <p><b>【専門性を活かす技能】</b><br/>デジタルコンテンツの作成スキルや、リアルなものづくりのスキルを身につけ、デジタルコンテンツやリアルのものづくりを、デジタル空間での情報発信と結び付けて生活やビジネスに展開できる能力</p> <p><b>【問題提起・解決能力】</b><br/>修得した知識とスキルを用いて、Society5.0を迎える新時代における生活やビジネスの諸課題を解決できる能力と、自分自身の生活と仕事の在り方を考え、両方を充実させる生き方を選択できる能力</p> <p><b>【表現力・コミュニケーション力】</b><br/>生活やビジネスの場、地域社会において、様々な手法で自らのアイデアや意見を表現し、様々な人とコミュニケーションがとれる能力</p> | <p>デジタルライフビジネス学科では、ディプロマ・ポリシーを実現するために、次のような特色あるカリキュラムを編成しています。</p> <p><b>【学科全体の特色】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生活学とビジネス学に関する基礎的知識を身につけるための科目を配置しています。</li> <li>●生活やビジネスに必要なデータの収集、処理、分析及び情報活用を行うことができる能力を身につけるための科目を配置しています。</li> <li>●様々なデジタルコンテンツの作成方法を学び、情報を表現する能力とWebやSNSを通して情報を発信する能力を身につけるための科目を配置しています。</li> <li>●リアルなものづくりを通して、イメージを実体のあるものに具現化する能力を身につけるための科目を配置しています。</li> <li>●デジタルともものづくりを融合しデジタル空間を通じてビジネスとして展開できる能力を身につけるための科目を配置しています。</li> <li>●新しい時代の自分自身のライフとワークの在り方を考え、生活と仕事の両方が充実した生き方を選択できる能力を身につけるための科目を配置しています。</li> <li>●身につけた知識やスキルを、地域振興やボランティア活動の実践で活用し、知識やスキルを生かす。他者と協働してプロジェクトを進めることにより、企画力やコミュニケーション力を身につけるための科目を配置しています。</li> </ul> <p><b>【各コースの特色】</b><br/>ものづくりデザインコースでは、リアルなものづくりのための知識やスキルを中心に学び、そのうえでデジタル空間上での情報発信の基礎を学んで、それらを生活やビジネスの場で活かす手法を身につけるための科目を配置しています。<br/>デジタルデザインコースでは、アイデアをデジタル空間上に実現し、情報発信するための知識やスキルを中心に学び、そのうえで、リアルなものづくりの基礎を学んで、それらを生活やビジネスの場で活かす手法を身につけるための科目を配置しています。</p> <p><b>【生活学科・ビジネスコミュニケーション学科との関係】</b><br/>本学科は生活学科とビジネスコミュニケーション学科の連係で成立しており、多くの共通科目も設定されています。デジタルデザインやものづくりデザインの基本は、両学科の専門分野とも重なります。本学科のカリキュラムによって、これらの多様な分野の専門性を身につけることができます。</p> | <p>デジタルライフビジネス学科では、次のような資質や能力をもつ入学生を求めています。</p> <p><b>【求める学生像】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●デジタルやリアルな「デザイン」や「ものづくり」、インターネット上での情報発信、データ分析等に興味を持ちビジネスや生活の場で、新しい知識やスキルを活かして、よりよい社会の創造に貢献したいと考えている人</li> <li>●Society5.0を迎える新時代における生活とビジネスに関心をもち、生活やビジネスの諸課題に自ら積極的に取り組み解決しようとする意欲や熱意のある人</li> <li>●本学科で学んだ知識やスキルをもとに、自分で起業することを目指している人</li> </ul> |